



■講 師：星田芳広（株式会社博進堂 生産部 印刷）
 笹山義浩（株式会社博進堂 企画）
 ■日 時：2017年10月24日（金）13時半～17時
 ■会 場：博進堂社内 食堂
 ■参加人数：25名

[プログラム]

- 講話 「モノクロ表現の基本的知識」
- 事例研究 「博進堂の作品事例研究」

モノクロを極める専門的技術をマスターしよう モノクロ印刷

最初に、星田さんから当社モノクロ印刷の仕様が紹介されました。現在ある4種のモノクロ印刷の内、ダブルトーンやトリプルトーンに使うスミのインクだけでも7種にも及ぶそうです。これらを使い分けによって、博進堂のモノクロ印刷は表現されています。

笹山さんは、お客様から怒られてモノクロ印刷の難しさを教わった事や、逆に校正の綺麗さにお客様が感動されたお話をありました。

常に研究心、疑問をもって仕事をする事が大切。「どうすればこうなるのか」を常に研究した結果、ダブルトーンやトリプルトーンの印刷表現にたどり着きました。最近では、オンデマンド印刷機でDICとスミ版の印刷を表現する研究をしており、先日その一部が印刷可能になったそうです。

常に研究心を持ち、新しい事にチャレンジし、今まで出来なかった事ができるようになる。社員一人一人の研究が会社の新しい技術、ひいては財産となる事が分かる講座でした。



[講師より]



今回、笹山氏と合同で博進堂のモノクロ表現と今までの歩み、研究の取り組みなどの素晴らしさを今までの数々の作品を紹介しながら進めていただき、改めて過去のモノクロのアルバムや作品集を見ると、その時代時代での先輩達の苦労や良さが見えてきて、とても楽しく講師をさせていただきました。

H、HBセピア、シングル、ダブル、トリプルトーンなどの経緯や、先輩方や我々が研究を続けて作り上げてきた博進堂のブランドをこれからの人達に引継ぎ、新たな博進堂の商品開発に取り組んでいただけたらと思いました。

株式会社博進堂
生産部 印刷
星田芳広



株式会社博進堂
企画
笹山義浩

今回のモノクロ表現の講座は印刷の星田さんとデータ作りから印刷までの話をしましたが、専門的な部分が多くだったのでどこまで伝わったのかはわかりませんでした。モノクロを表現するいくつかの種類や作成する難しさ、過去の印刷物を作り上げた時の苦労話が少しでも理解していただけたら講義の目的は達成できたのかなと思います。



CHECK OUT CARD

モノクロ表現が
いいみたいだと
思った。

CHECK OUT CARD

星田さんは少し
ありがとうございました。
また、お話を聞きた
いと思いました。
モノクロでひとつめの
柱を建てていらっしゃね。

CHECK OUT CARD

モノクロはすばらしい。

CHECK OUT CARD

(博進室の)
モノクロ表現は、
奥深いと
改めて思いました。
ありがとうございました。

CHECK OUT CARD

たいへん良い説明ありがとうございます。
ありがとうございました。

CHECK OUT CARD

モノクロ印刷
日本一は
本当かも
したな!!。

CHECK OUT CARD

苦労されて物語りを
しているのが良かたり
ました。
これからは営業用やフレ
モ必要では!

CHECK OUT CARD

大切な技術を
活かせる仕事を
作っていけると
良いですね。

CHECK OUT CARD

昔の話が聞けてよかったです。

CHECK OUT CARD

細点
細すらし
星田トーン、大沢トーン
かがり

基礎知識がなくて
難しかったです。
剥離にはましまつ。

CHECK OUT CARD

新しい発見があり
楽しく勉強できました。

CHECK OUT CARD

オフセット、印刷で
よく知りました。
大変なところが多
く改めて思って。
もと広報が上手く
やっているな...と
思う。

CHECK OUT CARD

モノクロ表現の
技術に対する印象
良さ、独特なものがある。

CHECK OUT CARD

黒の大切さを知りました。
情熱を持ってお客様の
ご要望にお応えする
姿勢が素敵でした。

CHECK OUT CARD

モノクロでこんな極め
ていい暮らし、モノ
仕事に直接つながる
な営業が必要と
感じました。

CHECK OUT CARD

星田トーン
を使ってみたい。

CHECK OUT CARD

モノクロは、多くの部署
が関係しながら成り立
っていると感じました。
昔、当社において
印刷物のサブカルチャー
有りました。もっと多くの人に
伝わると感じました。

CHECK OUT CARD

モノクロの中でも
たくさんある
モノクロが
あるんだね
おもいました。

